
決算説明資料

(平成22年11月期)

平成23年1月14日



 STAR MICA

JASDAQ
ジャスダック上場会社：3230

スター・マイカ株式会社

目次

1. 決算の概要

2. 事業内容及び決算状況

3. 今後の経営戦略

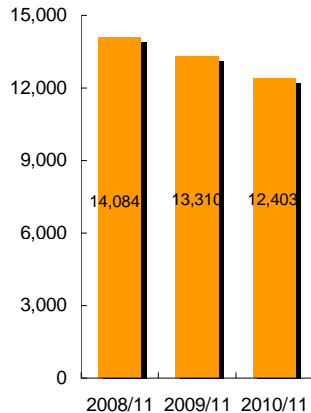
4. 市場環境

5. 会社紹介

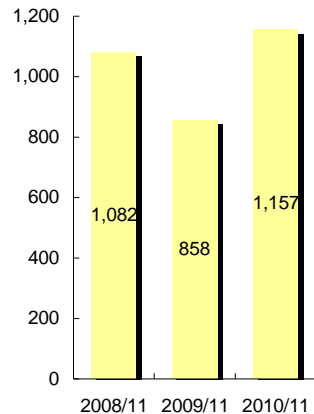
－PL－ 『リーマン・ショック前を超える利益水準』

- 相場の安定する手頃な価格帯の中古マンション市場は、“価格志向”の強いユーザーに支えられており依然活況
- 好調な中古マンションの売買が牽引し、経常利益・当期純利益は、リーマン・ショック前の2008/11期実績を超過
- 積極的な物件取得に伴う租税公課の増加(前期比81百万円増)等の影響により、販管費は一時的に増加

■ 売上高推移 (単位:百万円)



■ 経常利益推移 (単位:百万円)



■ 連結PL

(単位:百万円)

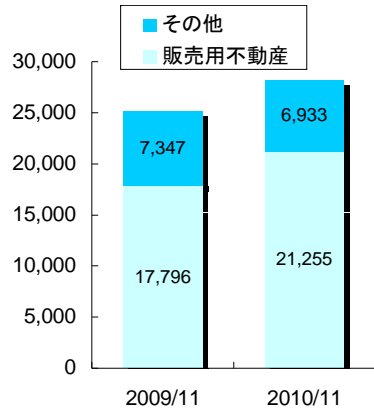
科目	2008/11		2009/11		2010/11		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比
売上高	14,084	100.0%	13,310	100.0%	12,403	100.0%	93.2%
売上総利益	2,674	19.0%	2,256	17.0%	2,631	21.2%	116.6%
販売費・一般管理費	1,018	7.2%	879	6.6%	1,021	8.2%	116.1%
営業利益	1,655	11.8%	1,377	10.3%	1,610	13.0%	116.9%
営業外利益	24	0.2%	2	0.0%	1	0.0%	74.3%
営業外費用	597	4.2%	521	3.9%	454	3.7%	87.3%
経常利益	1,082	7.7%	858	6.5%	1,157	9.3%	134.8%
販売用不動産評価損	-	-	179	1.3%	-	-	-
税金等調整前当期純利益	1,088	7.7%	674	5.1%	1,159	9.3%	171.8%
当期純利益	631	4.5%	359	2.7%	650	5.2%	181.0%
EPS(円)	7,725.14		4,393.07		7,867.40		

—BS— 『積極的な物件取得により来期以降の収益源を確保』

- 積極的な物件取得を促進させた結果、販売用不動産は過去最高水準に（前期末比約2割増）
- 物件の売却スピードに対応した長期での着実な資金調達により、有利子負債の固定化が進展（固定負債構成比：前期40.2%⇒47.4%）。今後もALM管理を一層強化
- 純資産比率34.2%と依然強固なバランスシートを維持しており、今後も積極的な仕入方針を継続

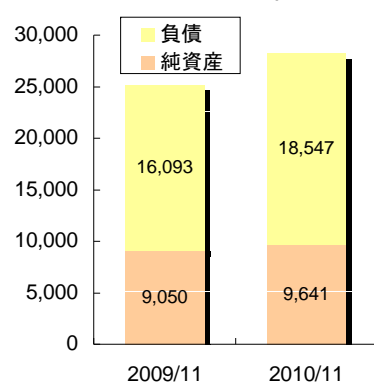
■ 総資産・販売用不動産推移

（単位：百万円）



■ 負債・純資産推移

（単位：百万円）



■ 連結BS

（単位：百万円）

科目	2009/11		2010/11		科目	2009/11		2010/11	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
流動資産	20,817	82.8%	23,615	83.8%	流動負債	5,996	23.8%	5,182	18.4%
現金及び預金	2,797	11.1%	2,057	7.3%	有利子負債	5,325	21.2%	4,045	14.4%
販売用不動産	17,796	70.8%	21,255	75.4%	その他	671	2.7%	1,136	4.0%
その他	223	0.9%	302	1.1%	固定負債	10,096	40.2%	13,365	47.4%
固定資産	4,322	17.2%	4,571	16.2%	有利子負債	10,058	40.0%	13,329	47.3%
有形固定資産	2,713	10.8%	2,938	10.4%	その他	37	0.2%	36	0.1%
その他	1,608	6.4%	1,633	5.8%	負債合計	16,093	64.0%	18,547	65.8%
繰延資産	3	0.0%	1	0.0%	純資産合計	9,050	36.0%	9,641	34.2%
資産合計	25,143	100.0%	28,189	100.0%	負債・純資産合計	25,143	100.0%	28,189	100.0%

※販売用不動産の主要なものは、中古マンション事業のマンション
 ※有形固定資産の主要なものは、インベストメント事業の不動産
 ※固定資産(その他)の主要なものは、投資事業有限責任組合(連結子会社)における投資有価証券

1. 決算の概要

2. 事業内容及び決算状況

3. 今後の経営戦略

4. 市場環境

5. 会社紹介

好調な中古マンション売買は過去最高益を達成

- 中古マンション事業(賃貸)では、販売用不動産残高が前期初比約1割減でスタートするも、積極的な積上げや、賃貸管理内製化による賃貸利益率上昇(66.1%⇒69.5%)が寄与し、賃貸利益はほぼ前期並み水準を維持
- 中古マンション事業(売買)では、活況な中古マンション市場のもと、販売チャネルの拡充、商品力の向上もあり、売却利益率は前期比大幅に上昇(10.8%⇒14.4%)。売買利益は過去最高益を達成

■セグメント別売上高・粗利益

(単位:百万円)

セグメント別	2008/11		2009/11		2010/11			
	金額		金額		金額	構成比	前期比	
売上高	14,084		13,310		12,403	100.0%	93.2%	
中古マンション	12,136		12,273		11,440	92.2%	93.2%	
うち賃貸	1,567		1,527		1,414	11.4%	92.6%	
うち売買	10,568		10,746		10,025	80.8%	93.3%	
インベストメント	1,573		852		759	6.1%	89.1%	
アドバイザー	374		184		203	1.6%	110.5%	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	構成比	前期比
売上総利益	2,674	19.0%	2,256	17.0%	2,631	21.2%	100.0%	116.6%
中古マンション	2,301	19.0%	2,049	16.7%	2,319	20.3%	88.1%	113.2%
うち賃貸	1,054	67.3%	1,010	66.1%	983	69.5%	37.4%	97.3%
うち売買	1,246	11.8%	1,163	10.8%	1,443	14.4%	54.9%	124.1%
うち販売用不動産評価損	-	-	-124	-	-107	-	-4.1%	86.8%
インベストメント	0	-	23	2.7%	108	14.2%	4.1%	462.8%
アドバイザー	374	100.0%	184	100.0%	203	100.0%	7.7%	110.5%

中古マンション事業における低価法の影響

- 期末販売用不動産残高(212億円)に対し、通期評価損は0.5%程度と極めて軽微
- 潜在的な評価益は約50億円に増加

■ 低価法による評価損算出時における含み損益の状況

(単位:百万円)

含み損益の状況	2008/11 期末残高	2009/11 期末残高	2010/11 期末残高
販売用不動産残高(帳簿残高) (a)	19,825	17,796	21,255
うち含み益物件	17,890	15,897	19,859
正味売却価格	21,686	18,916	24,875
含み損益	3,796	3,019	5,015
うち含み損物件	1,872	1,441	964
正味売却価格	1,692	1,396	907
含み損益 (b) (注)	△ 179	△ 44	△ 56
比率 (b)/(a)	-0.9%	-0.2%	-0.3%
通期評価損	-	△ 124	△ 107

(注)2008/11期含み損は、2009/11期初に低価法適用初年度の評価損として特別損失に計上
2009/11期、2010/11期含み損については、各4Qに売上原価にて評価損計上

※正味売却価額は、見積販売価格(鑑定価格等)から、見積販売費用(仲介手数料、リフォーム費用)を控除したもの
※上記の正味売却価額、含み損益は、会計上の見積りに基づくものであり将来の損益を保証するものではありません

中古マンション事業 ～5つの特色～

独自の事業モデルを構築

①投資対象の差別化

✓マンション『1室』単位での投資

②投資戦略の差別化

✓市場の価格形成に着目したアービトラージ

③リスク分散による差別化

✓マンションのポートフォリオ運用

他社には真似のできない“仕組み”作り

④オペレーション体制の差別化

参入障壁① 非常に煩雑な取引・管理業務

⑤ファイナンス力の差別化

参入障壁② 資金調達の難易度の高さ

“①対象不動産の差別化”

中古マンション事業の投資対象

- 「賃貸中」の「ファミリー向け中古マンション」を「1戸単位」から取得
- 首都圏を中心に、流動性・利便性のある物件に投資

用途	オフィス	住居		
所有形態	1棟	1棟	区分所有マンション	
所有者の通常の目的	投資目的	投資目的	投資目的 (投資用1Rマンション)	居住目的 (ファミリー分譲マンション)
新築	不動産開発会社		コンパクトマンション 開発・販売会社	マンション分譲会社
中古	高額物件	REIT・私募ファンド・AM会社		個人富裕層中心
	標準的な物件	私募ファンド・AM会社等		当社

差別化

実需に支えられたマーケットのため、「投資資金の流入」が少なく、「価格推移は安定的」

賃貸中物件のため、新築マンションにみられる「大量の空室残戸リスク」がなく、常時プラスのキャッシュフロー

“②投資戦略の差別化”

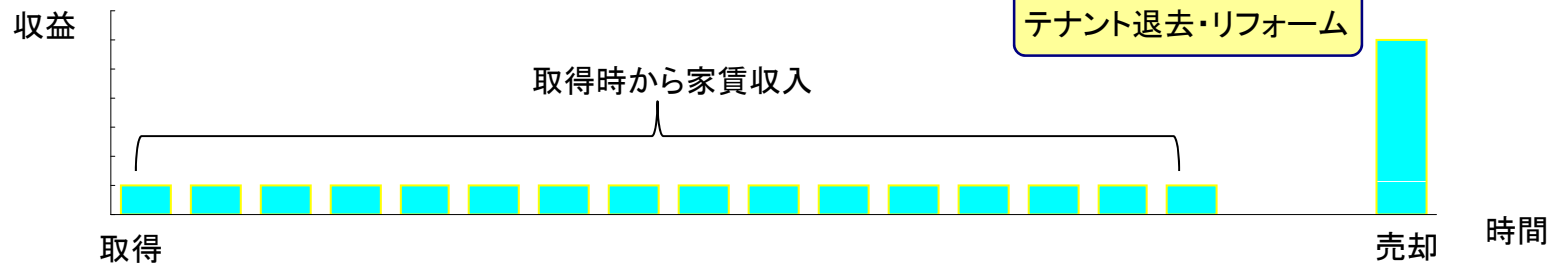
投資戦略

- 値上がり益ではなく、**市場間の『価格差』**に着目した“裁定取引”
(“バリューアップ”や“再生”とは異なる)
- 保有期間中は「**入居者からの賃料収入**」、売却時には「**売却益**」を得られる
- 出口戦略は**実需消費者**への商品供給がメイン(**投資家間の転売**とは異なる)

賃貸中物件を取得

賃借人退去まで保有

退去後に空室物件として売却



『“堅実”に収益を生み出す仕組み』

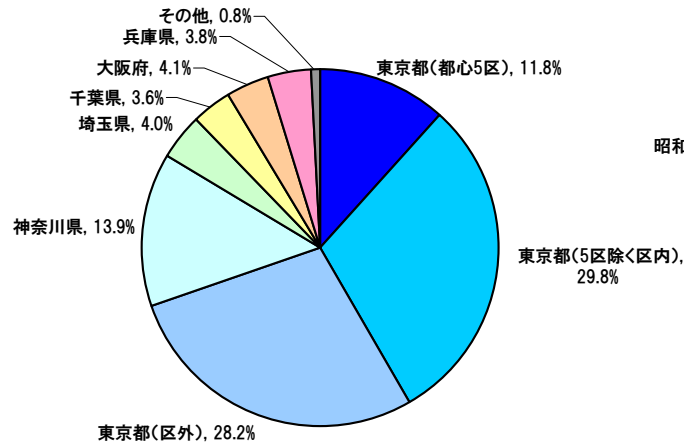
「家賃」+「売却」の“ハイブリッド型”ビジネスモデル



“③リスク分散による差別化”

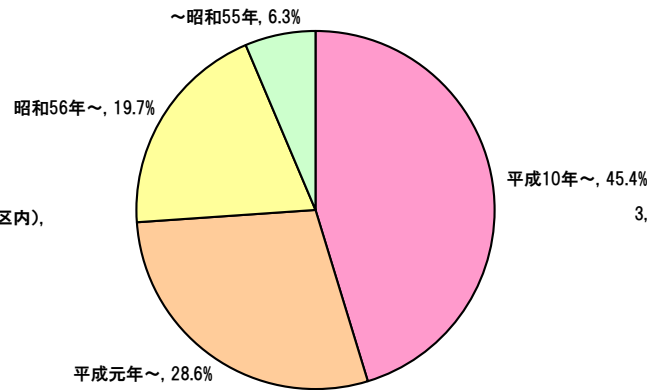
様々なエリア・築年数・価格帯で構成される中古マンション約1,000室を“ポートフォリオ”運用することで、**個別物件で生じるリスク**(事故・自然災害、価格変動、退去期間等)**を分散**

■ 地域別残高構成



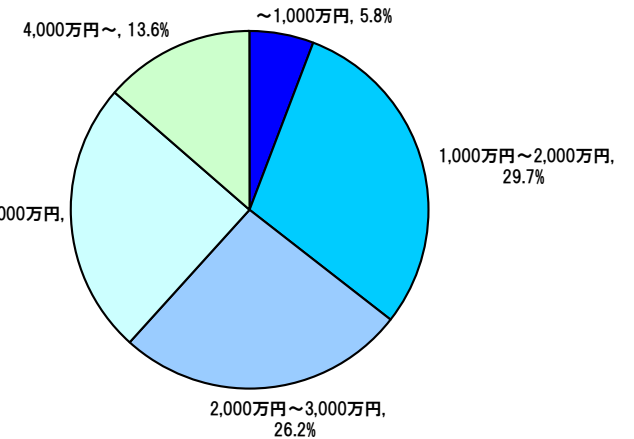
所在地	2009/11時点	2010/11時点
東京都(都心5区)	8.7%	11.8%
東京都(5区除く区内)	41.7%	29.8%
東京都(区外)	6.7%	28.2%
神奈川県	19.8%	13.9%
埼玉県	4.3%	4.0%
千葉県	4.1%	3.6%
大阪府	6.8%	4.1%
兵庫県	6.2%	3.8%
その他	1.7%	0.8%

■ 築年時期別残高構成



築年	2009/11時点	2010/11時点
平成10年～	28.6%	45.4%
平成元年～	42.2%	28.6%
昭和56年～	22.4%	19.7%
～昭和55年	6.8%	6.3%

■ 購入価格帯残高構成



購入価格帯	2009/11時点	2010/11時点
～1,000万円	6.5%	5.8%
1,000万円～2,000万円	38.7%	29.7%
2,000万円～3,000万円	31.1%	26.2%
3,000万円～4,000万円	13.4%	24.7%
4,000万円～	10.3%	13.6%

■ 平均物件データ

	2009/11時点	2010/11時点
平均専有面積	69.70 m ²	69.87 m ²
平均築年数	17.6 年	17.4 年
平均購入価格	19,159 千円	20,986 千円

※平均物件データは戸数平均(すべて区分所有)。なお、平均購入価格は契約金額(消費税込)であり諸費用等は含まない
 ※都心5区に含まれる区は、渋谷区、新宿区、中央区、千代田区、港区
 ※地域別残高構成・築年時期別残高構成・購入価格帯残高構成は、購入契約金額比による(すべて区分所有)

“④オペレーション体制の差別化”

- 「誰もやらない、誰もやれない」 繁雑な業務を、『迅速に』実施する仕組みづくり
- 周辺業務の収益機会を取り込んだオペレーション体制により強化された事業収益力

取得

- 情報ルート
不特定の大手仲介会社中心
(数百店舗への地道な営業活動)
- 査定
取引事例 DBを活用した
理論値と、実査による調整を
組合せた独自ノウハウ

保有

- 物件(賃貸)管理
・保有物件の約半数を大手PM会社へ
アウトソース、残りは内製化
⇒コスト削減に加え、収益機会を拡大
- リーシング
退去時には売却するモデルのため、
空室リスクがない

売却

- リフォーム
・物件タイプに応じた、品質・コストの
定型(スペック)化
⇒大量発注によるコストダウン
- 販売ルート
・大手仲介会社に委託
・販売子会社による直接販売
⇒販売ルートの多様化

自社開発された当社専用の業務管理システム

少人数で月間約百件の契約決済事務を行う効率的なシステムの構築

“⑤ファイナンス力の差別化”

- “1棟”での借入に比べ難易度の高い、“区分所有ポートフォリオ”での借入を実現
- 事業特性に対応して「長期中心」でのファイナンスに移行
- 大型物件取得資金については、3～4年の長期での資金調達を実現

■返済期日分散表

(単位:百万円)

	2011/11期				2012/11期				2013/12期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月
短期借入金	861	1	1	324	-	-	-	-	-	-	-	-
社債	-	50	-	50	-	-	-	-	-	-	-	-
長期借入金	2,118	298	176	162	4,261	239	270	241	441	213	3,717	155
うちシローン(08/01実行、当初65.5億円)	1,803	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うちシローン(09/02実行、当初40億円)	-	-	-	-	2,083	-	-	-	-	-	-	-
うちシローン(10/02実行、当初15.9億円)	-	-	-	-	844	-	-	-	-	-	-	-
うちその他長期	315	298	176	162	1,332	239	270	241	441	213	3,717	155
合計	2,979	350	178	536	4,261	239	270	241	441	213	3,717	155

“長期資金は返済期日を分散して調達”
 長期資金は、物件売却に応じて返済を行うため、借入残高は随時遞減

“大型物件(国立)取得資金”
 プロジェクト期間に対応した3～4年の長期での資金調達を実現

※2010/12/1以降に返済期日の到来する有利子負債を借入種別毎に累計

1. 決算の概要

2. 事業内容及び決算状況

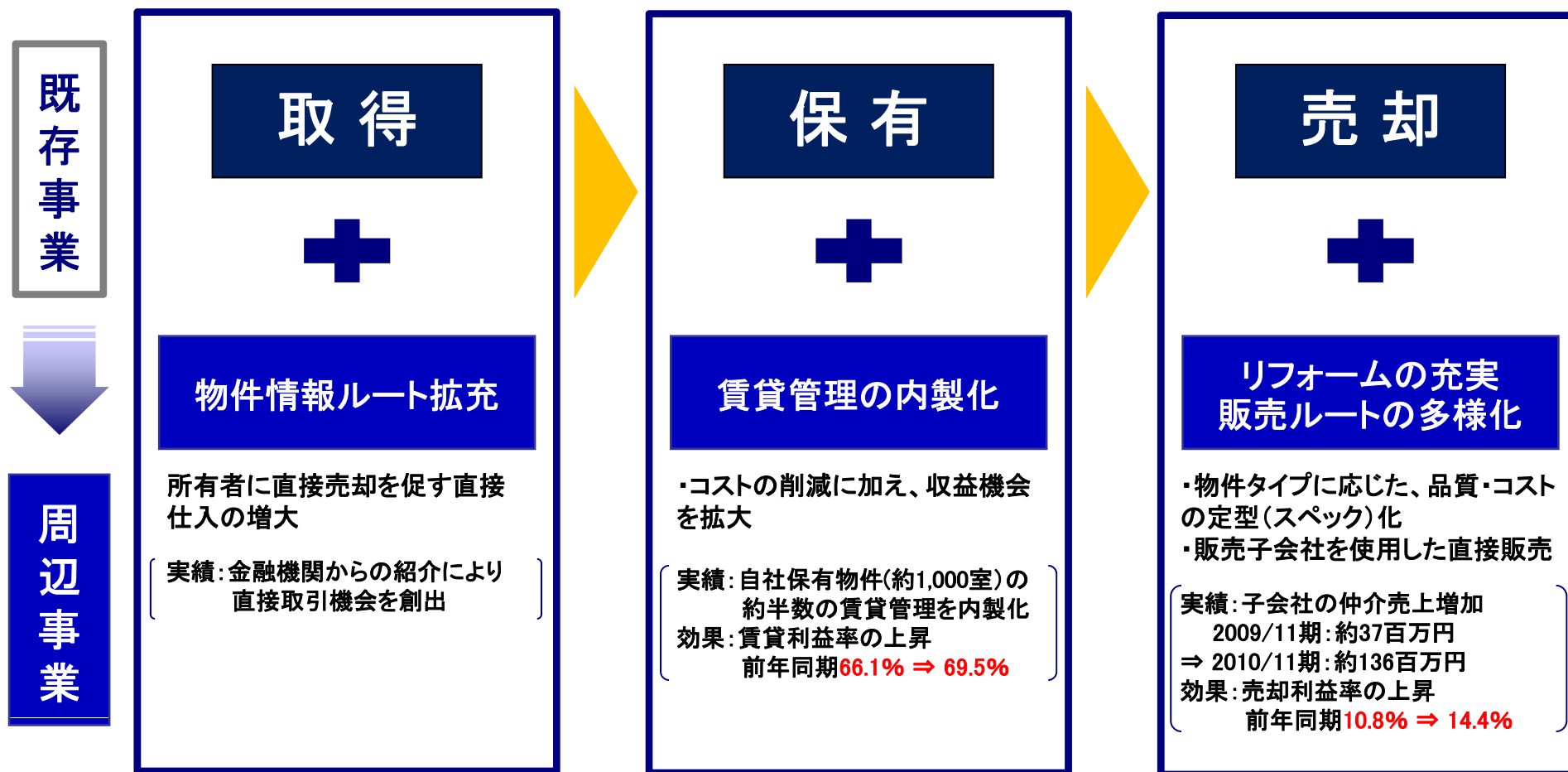
3. 今後の経営戦略

4. 市場環境

5. 会社紹介

2010年11月期 『“攻め”の経営』の振り返り

- **中古マンションのリーディングカンパニー**として、“攻め”の経営を実践
- 中古マンション事業の根幹となる仕入強化による**保有物件の積上げ**、子会社を活用した**周辺業務への収益機会拡大**による事業収益力を強化

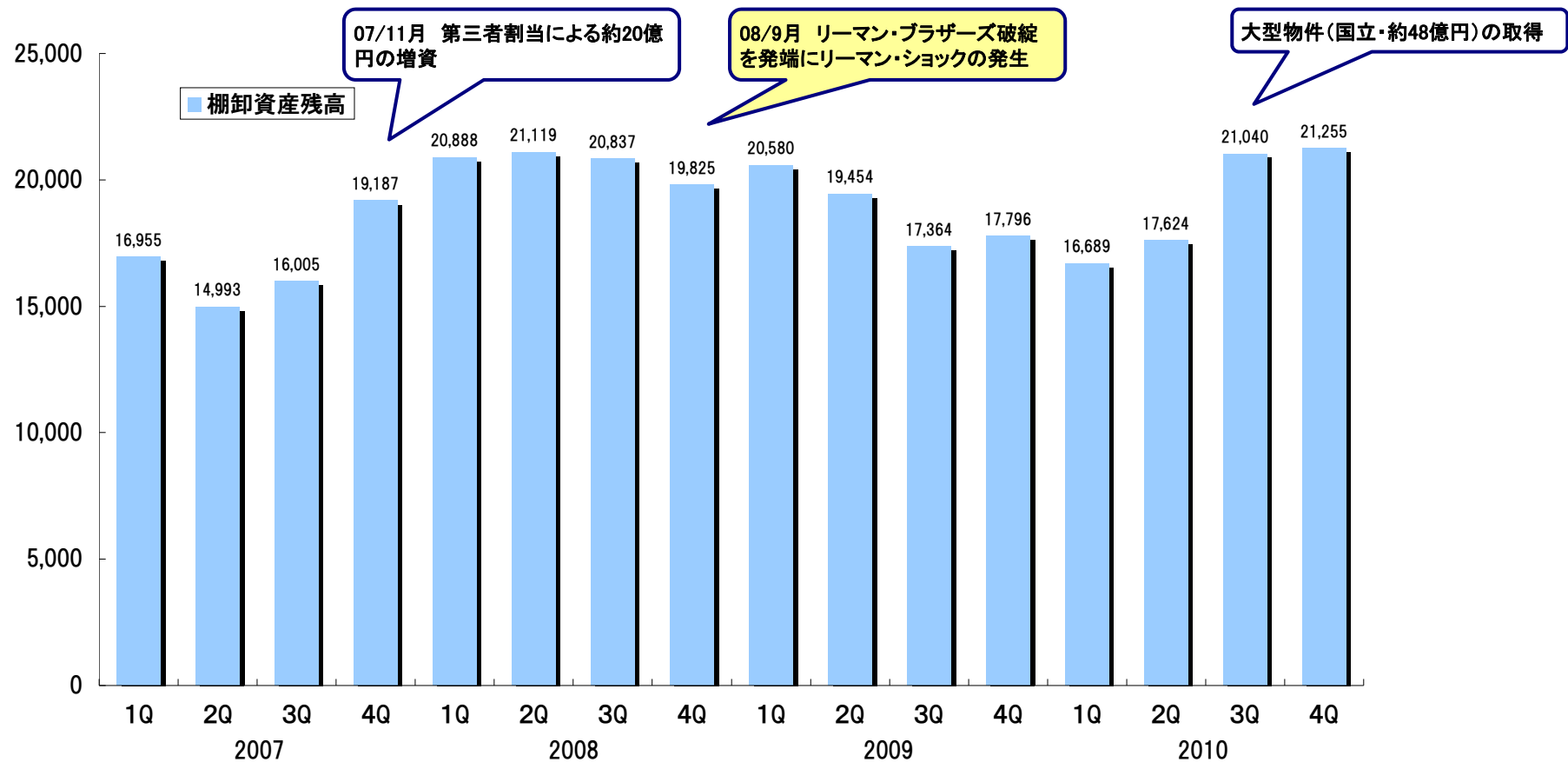


— 販売用不動産 — 『積極的な物件取得により最高残高更新』

- 大型物件含む積極的な物件取得により、2010/11期末時点で販売用不動産残高は**過去最高**に
- 中古マンションのリーディングカンパニーとして、2011/11月期も積極取得方針を継続し、更なる積上げを目指す

■ 販売用不動産推移(各四半期末時点ベース)

(単位:百万円)



※販売用不動産の主要なものは、中古マンション事業のマンション

大型物件の取得(クリオレミントンヴィレッジ国立)

- 学園都市として人気の国立エリアにおいて、好立地・大規模・広い専有面積等、他にはない希少性の高い物件
- 今後の中古マンション事業における収益源の中核をなす過去最大規模の案件

■ 物件概要

物件名称 : クリオレミントンヴィレッジ国立
所在 : 東京都国立市中三丁目11番1
交通 : JR中央線「国立」駅徒歩15分
JR南武線「谷保」駅徒歩8分
階高 : 地下1階・地上14階
総戸数 : 353戸(うち住居343戸)
竣工年月 : 平成13年12月
旧分譲 : 明和地所株式会社
管理会社 : 明和管理株式会社

■ 取得対象

戸数 : 住居134戸
賃貸状況 : (2010年7月取得時点)
賃貸中121戸、空室13戸
専有面積 : 83.89㎡～130.31㎡(平均95.89㎡)
間取り : 1LDK～4LDK

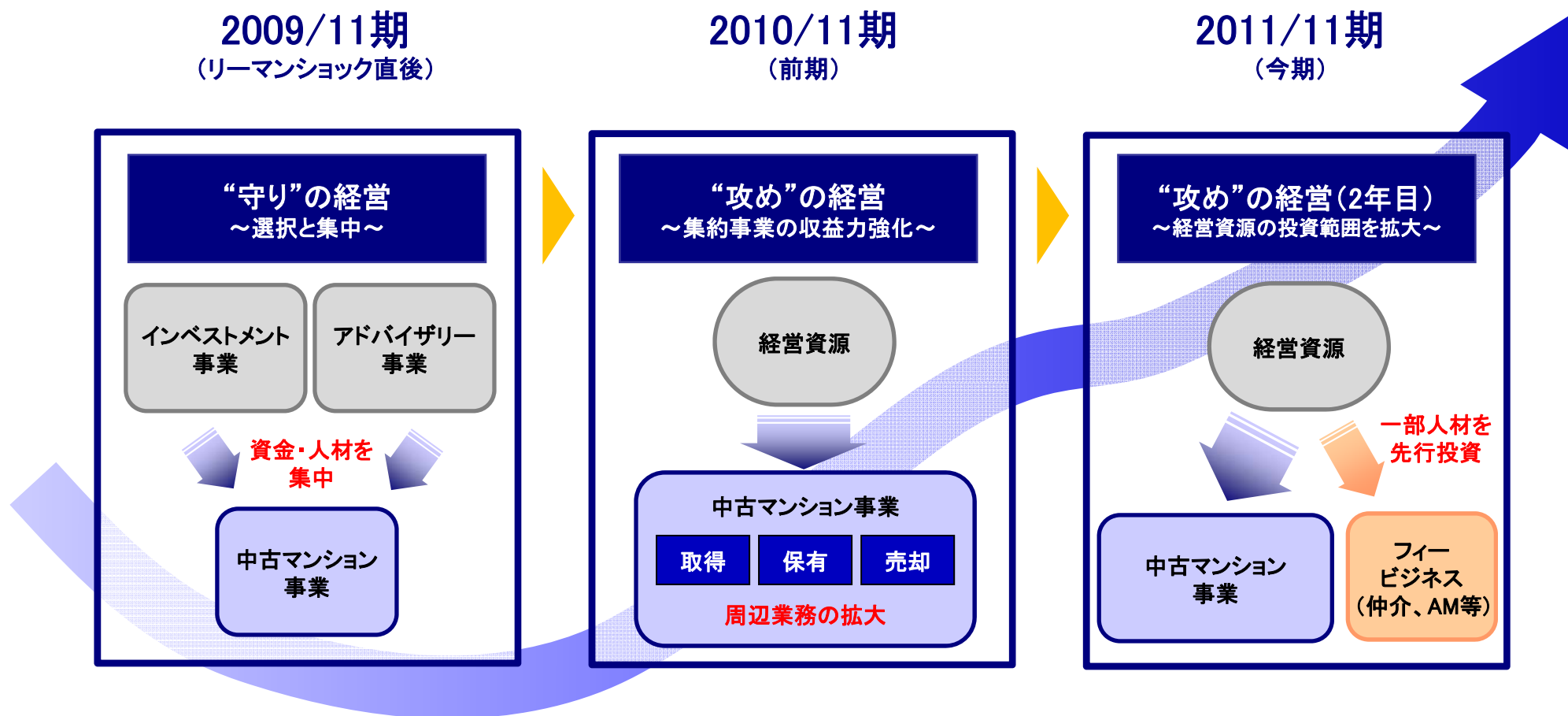
■ 資金調達

借入先 : あおぞら銀行、三井住友銀行、
りそな銀行
借入金額 : 総額42.5億円
借入期間 : 3年～4年



『“攻め”の経営』は次のステージへ

- 中古マンションのリーディングカンパニーとして、“攻め”の経営を継続
- 資金は中古マンションに集中、人材はBSを使わないフィービジネスにも投下



2011/11月期 経常利益ベース過去最高益へ

前期初比約2割増の販売用不動産を足掛かりに、前期の好調な売却ペースを堅持し、**経常利益ベース最高益**の更新を目指す

(単位:百万円)

科目	2009/11			2010/11			2011/11 (予想)	
	金額	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	
売上高	13,310	12,403	93.2%	13,012	104.9%			
売上総利益	2,256	2,631	116.6%	2,893	110.0%			
営業利益	1,377	1,610	116.9%	1,873	116.4%			
経常利益	858	1,157	134.8%	1,350	116.7%			
特別損益	-183	2	-	-	-			
税金等調整前当期純利益	674	1,159	171.8%	1,350	116.5%			
当期純利益	359	650	181.0%	753	115.9%			

EPS(円) 4,393.07 7,867.40 9,081.93

1株当たり配当金(円) 1,000 1,100 1,100

※予想EPSは、2010年11月30日発行済株式総数(83,000株)に基づく予想

(単位:百万円)

セグメント別	2009/11			2010/11			2011/11 (予想)	
	金額	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	
売上高	13,310	12,403	93.2%	13,012	104.9%			
中古マンション	12,273	11,440	93.2%	12,016	105.0%			
賃貸	1,527	1,414	92.6%	1,647	116.5%			
売買	10,746	10,025	93.3%	10,368	103.4%			
インベストメント	852	759	89.1%	820	108.0%			
アドバイザー	184	203	110.5%	176	86.5%			
売上総利益	2,256	2,631	116.6%	2,893	110.0%			
中古マンション	2,049	2,319	113.2%	2,541	109.6%			
賃貸	1,010	983	97.3%	1,187	120.7%			
売買	1,163	1,443	124.1%	1,444	100.0%			
評価損	-124	-107	86.8%	-90	83.5%			
インベストメント	23	108	462.8%	176	162.7%			
アドバイザー	184	203	110.5%	176	86.5%			

1. 決算の概要

2. 事業内容及び決算状況

3. 今後の経営戦略

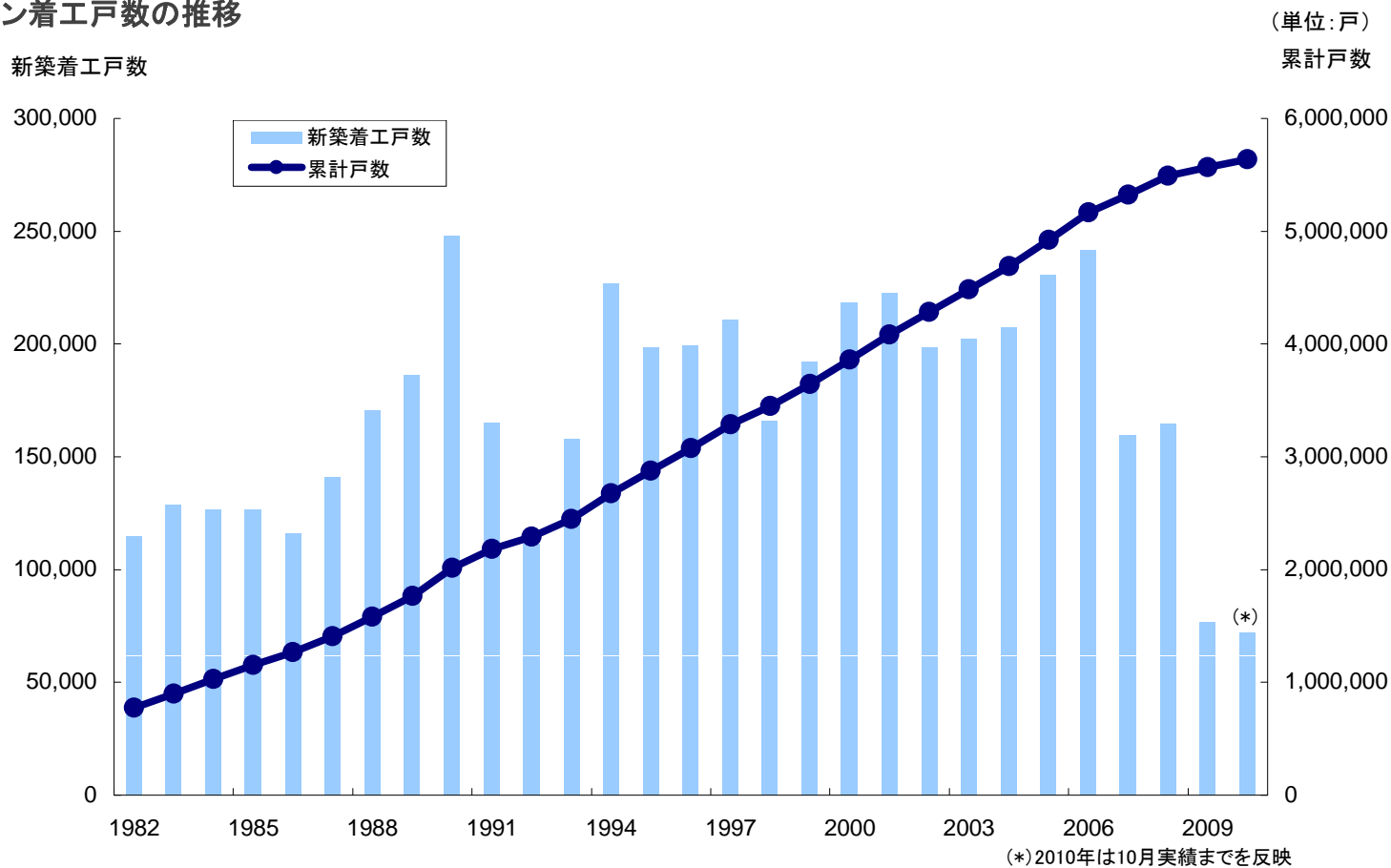
4. 市場環境

5. 会社紹介

マンションストック ～500万戸超の時代～

- マンションストックは右肩上がりの増加
- 新築マンションの供給は依然低水準 ⇒ 中古市場の整備・拡大は一層期待される

■ 新築マンション着工戸数の推移



(出典)国土交通省 建築着工統計調査報告より当社作成

構造＝鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、建て方＝共同建、利用関係＝分譲住宅

マンションストックの活用

マンションストックの増加・世帯数の増加・人口の首都圏集中により、
大都市圏の中古マンション流通は今後加速的に増加すると考えられる

■核家族化による世帯数の増加

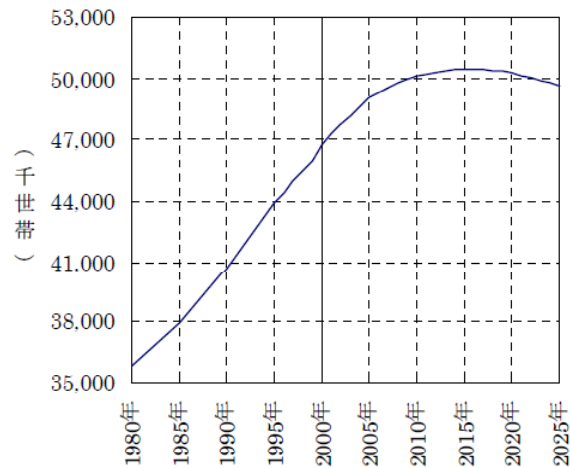
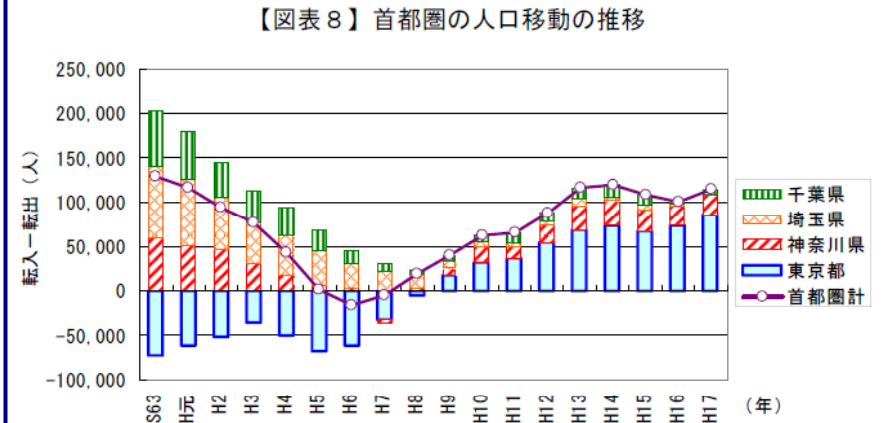


図1. 一般世帯総数の推移図

(出典)国立社会保障・人口問題研究所
 日本の世帯数の将来推計(全国推計)2003(平成15)年10月推計

■大都市圏への人口流入



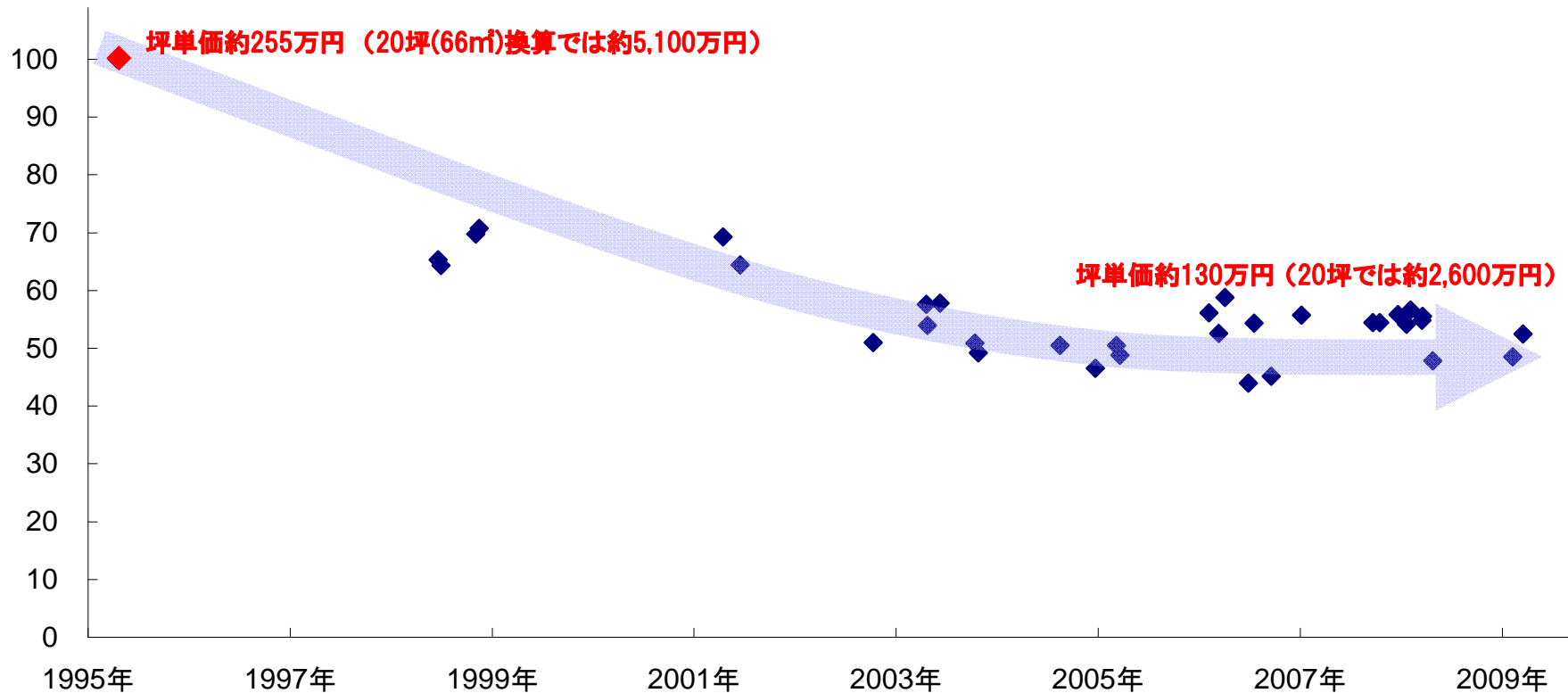
(出典)国土交通省 国土交通月例経済 平成18年6月号
 「首都圏における分譲マンション着工の動向について」



中古マンションにおける築年数経過時の価格推移

中古マンションは経年により価格が下がるものの、概ね築10年以降は安定

■ 中古ファミリーマンションの価格推移例(分譲=100とする)



©サンプル物件 地区:神奈川県横浜市港南区 分譲戸数:約350戸 平均占有面積:約75㎡ 竣工:1995年7月
※当該物件における売買成約価格資料を基に当社作成

“手頃な価格帯”住宅への需要の底堅さ

■“家賃以下で買える中古マンション”

- ✓現状の家賃支払額の範囲内で“手頃な価格帯”の中古マンションの購入が可能
- ✓実際の所得水準を考えても、圧倒的に需要が大きい価格帯



■借入金の月額返済額(元利均等・35年返済・金利2.5%) (単位:円)

借入金額	毎月の支払額
10,000,000	35,750
15,000,000	53,624
20,000,000	71,499
25,000,000	89,374
30,000,000	107,249
35,000,000	125,123
40,000,000	142,998
45,000,000	160,873
50,000,000	178,748

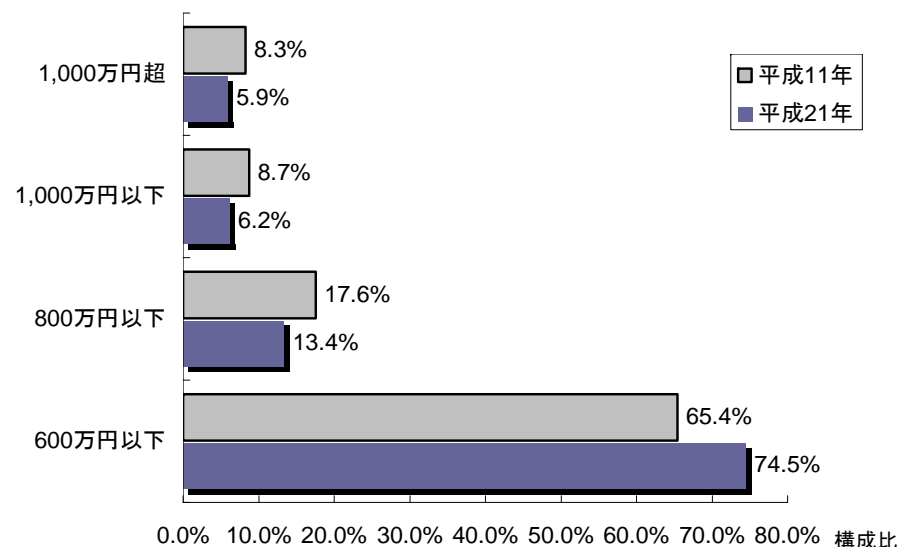
■手頃な中古マンションの平均像(*)

平均価格	25,860 千円
平均専有面積	65.04 m ²
平均築年数	16.4 年
平均賃貸時月額賃料等	154 千円
平均月額管理費・積立金等	22 千円

毎月の返済額9万円程度で、当社が売却する平均的な物件の購入が可能

* 当社の販売実績(2009/12~2010/11)に基づく

■給与所得者年収別分布(平成11年・平成21年分・男性)



※民間給与実態統計調査(平成11年、平成21年分)国税庁より当社作成

年間給与所得600万円以下が全体の“約4分の3”を占める

中古マンションの時代到来

欧米では住宅市場の主役(7割~9割)は「中古住宅」
日本はわずか1割程度のシェア

国土交通省
「中古住宅市場」の活性化に数値目標※
【平成15年:13%→平成27年:23%】

- ・2006年6月8日 「住生活基本法」施行
- ・2006年9月19日 住生活基本計画(全国計画)が閣議決定

※既存住宅の流通シェア(既存住宅の流通戸数の新築を含めた全流通戸数に対する割合)

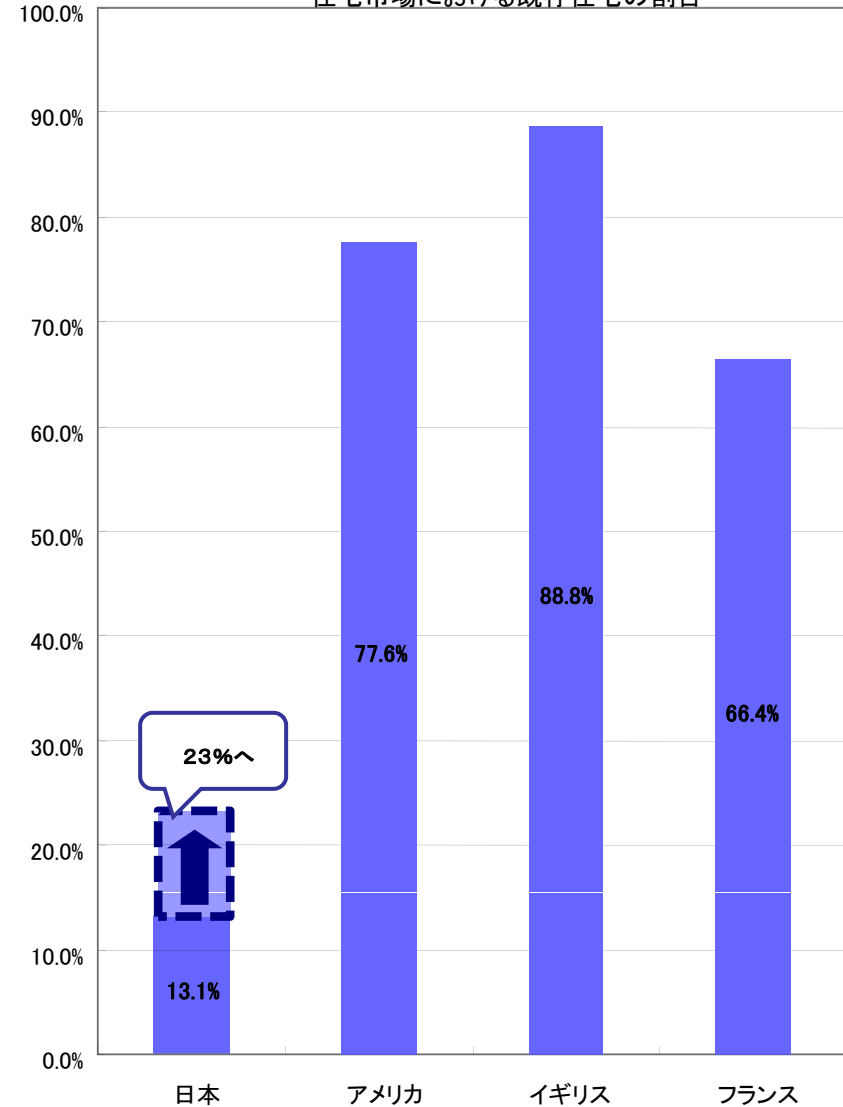
①優良な物件の供給

- ・長期優良住宅法→長期優良物件の普及
- ・住宅瑕疵担保履行法→新築物件取得者の保護

②住宅の取得・流通を促進

- ・住宅品質確保法(新築・既存)→住宅情報開示を強化
- ・住宅ローン減税の拡大
- ・贈与税の非課税枠の拡充
- ・「フラット35」の優良住宅融資の金利優遇幅拡大
- ・住宅エコポイントのスタート

住宅市場における既存住宅の割合



(出典)国土交通省公表「成果指標設定の考え方について」より当社作成

中古住宅流通市場の規模倍増へ ～国家戦略プロジェクト～

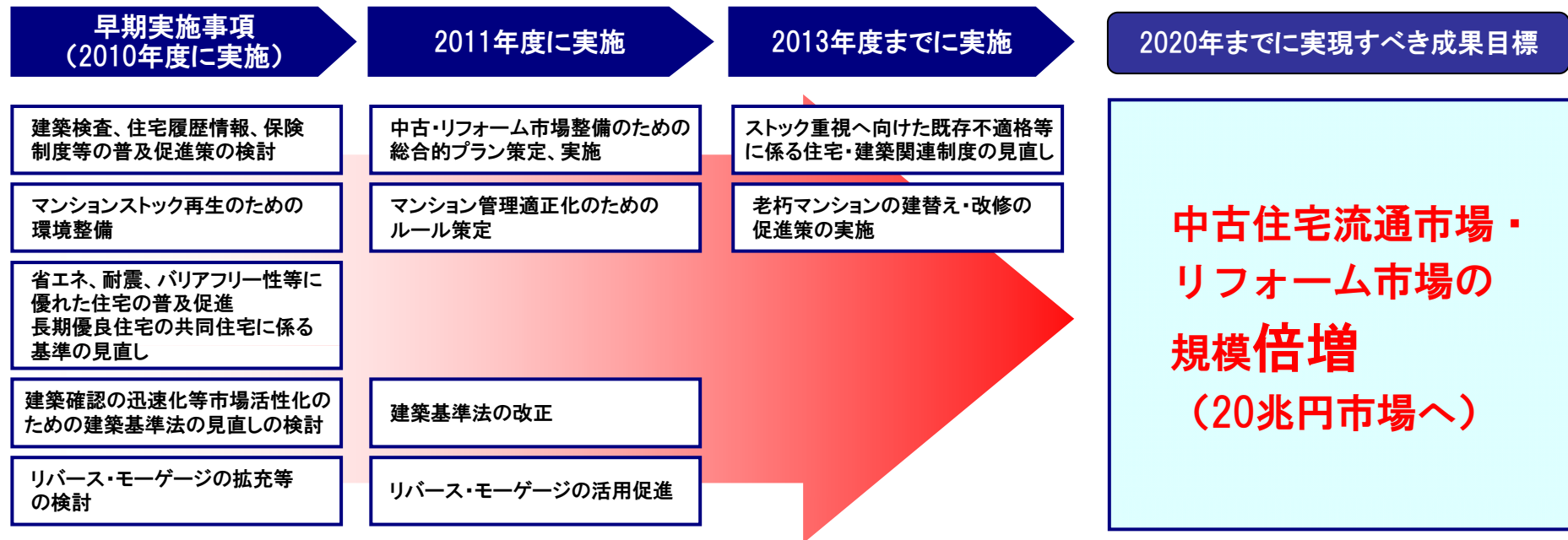
◆中古住宅の流通市場・リフォーム市場の規模倍増(20兆円)

◀新成長戦略 ～「7つの戦略分野」の目標と「21の国家戦略プロジェクト」～ 閣議決定 (2010/6/18) ▶

～ストック重視の住宅政策への転換～

- (1) スtock重視の住宅政策への転換に必要な、トータルプランに基づく市場環境整備、規制緩和等の実施
- (2) 「作っては壊す」社会からの転換を図るための、質の高い新築住宅の供給促進
- (3) 内需主導の経済成長を実現するための、住宅・不動産市場の活性化の促進

■ 目標達成に向けた工程表



(出典) 国家戦略室HP(右記URL)より当社作成 <http://www.npu.go.jp/>

-
1. 決算の概要
 2. 事業内容及び決算状況
 3. 今後の経営戦略
 4. 市場環境

5. 会社紹介

会社概要

■ 2010年11月30日現在

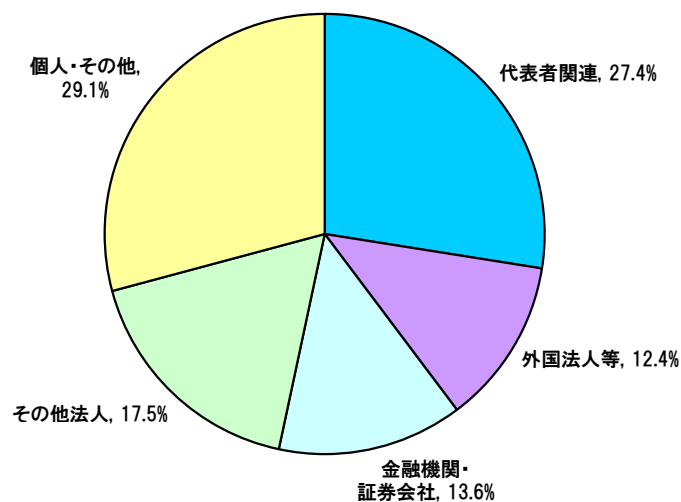
会社名	スター・マイカ株式会社
代表者	代表取締役社長 水永 政志 (略歴)・三井物産(株) ・MBA(カルフォルニア大学ロスアンゼルス校) ・(株)ポストコンサルティンググループ ・ゴールドマン・サックス証券会社
設立	平成13年(2001年)5月1日
上場	平成18年(2006年)10月2日 大証ジャスダック市場(証券コード 3230)
資本金	2,949百万円
事業所	本社(東京都港区)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、あおぞら銀行、三井住友銀行、りそな銀行、みずほ銀行他
監査法人	有限責任あずさ監査法人
役職員	56名
事業内容	中古マンション事業、インベストメント事業、アドバイザー事業

株主の概要(2010年11月30日現在)

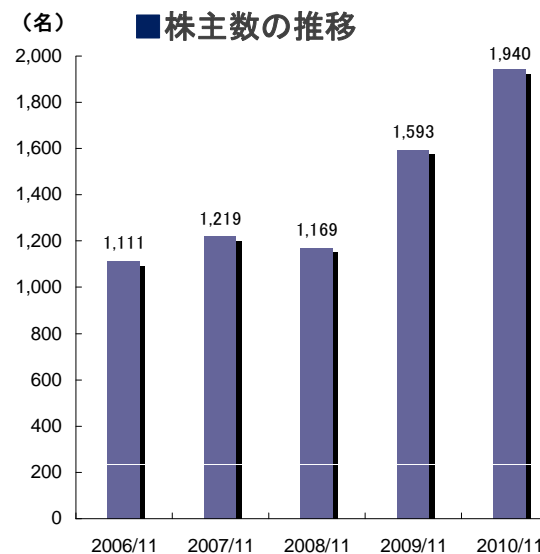
■主要株主の状況

大株主名	2010/5	2010/11	比率	備考
(株)オフィス扇	16,450	16,450	19.8%	代表取締役社長の財産保全会社
(合)ジュピターインベストメント	12,600	12,600	15.2%	ゴールドマン・サックスグループ
田口 弘	9,000	9,000	10.8%	
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	6,807	6,884	8.3%	
水永 政志	6,194	6,294	7.6%	代表取締役社長
重田 康光	3,767	3,767	4.5%	
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,487	2,452	3.0%	
バンクオブニューヨークエイチビーケーマスターファンドエルピー	4,029	2,229	2.7%	
CREDIT SUISSE SECURITIES(USA)LLC-SPCL.FOR EXCL.BENE	1,895	1,512	1.8%	
CITIGROUP GLOBAL MARKETS INC. -SECURITIES SAFEKEEPING ACCOUNT 418	**	1,504	1.8%	
その他	19,771	20,308	24.5%	**上位10名ではないため記載せず
合計	83,000	83,000	100.0%	

■株主分布状況



■株主数の推移



お問い合わせ先

スター・マイカ株式会社



- この資料に記載されている予想・見通しは、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
- 決算短信による決算発表は、適時開示の要請に基づき行なわれるものであり、決算短信の公表時点では監査報告書は未受領となっております。
- 本資料に記載されたデータには、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した公開情報の引用が含まれておりますが、当社がその内容の正確性・確実性を保証するものではありません。
- この資料は、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資に際しては、投資家ご自身のご判断において行なわれますようお願いいたします。

【担当】

スター・マイカ株式会社 経営企画室

電話： 03-3568-1770

E-mail: ir.group@starmica.co.jp